

ALT



こんにちは
マーシャル・ラビル
外国語指導助手(ALT)
です

春の花々

甘い香りが漂います。美しい赤、ピンク、白の花が冬の間は裸だった木々の枝に明るさをもたらします。日本の冬は厳しい季節です。水道管が凍りつき、熱いシャワーが使えなくなり、こたつだけが頼りの長くて寒くて寂しい夜が続きます。セントラルヒーティングの国から来た者にとっては、厳しいものです。でも日本の冬には、たまらない魅力もあります。まず思い浮かぶのは温泉です。そのほかにも鍋もの、おでん、大塔の山々を覆う雪、そしてスキーなど魅力はつきません。

でもみなさん、もう冬の話はいいですよ。春が来たのですから。僕は今朝目を覚ました後、後醍醐天皇の夏の別荘の前にある古い桜の木の下を通して散歩しました。そして、世界の中でも特に美しい場所で働くことができた幸せをかみしめました。西吉野は梅の吉野山といってもいいのではないのでしょうか。信じられないくらい美しいです。毎日学校での授業を終え、帰宅する途中、僕はよく車をとめ、梅林の中を散策しました。梅の花が僕の気分や考え方に与えた影響力は計り知れないものがあります。梅の花は僕の一日の疲れをいやし、もう一かぎ、梅の香を楽しみたいなあという気持ちにさせました。西吉野に住んだおかげで花が好きになり、春を待つ意味がよくわかるようになりました。

そして今、桜の花が咲いています。その桜の花を見て僕は、純粋な美ということに思いをはせます。極端な言い方かもしれませんが桜の花はある意味でセクシーで、日本に住むすべての人に命を吹き込みます。桜の季節は日本文化の至宝であり、僕たちが桜の都、吉野に住んでいるということは、なんとしあわせなことでしょう。

吉野山についてですが、ここだけの内緒話があります。吉野山で花見をするならば、絶対平日の夕方です。私たちはこの文化的至宝からすぐ近くに住んでいるのですから、一日の長い仕事を終えてからでも、夕日の中の桜の下でお弁当を広げることができます。スナップ写真を撮影する人ごみや喧騒はもうありません。枝をゆする風の音を聞きながら力とエネルギーに満ちた桜の花を楽しむことができるのです。

桜の季節の吉野山の夕暮れは、この世界が私たちに与えてくれる、最も素晴らしいもののひとつではないのでしょうか。そして私たちは毎年毎年、この神聖な至宝を味わうことができます。観光バスが去り、吉野山が本当のエネルギーを放出する時間に、皆さんのどなたかと、ばったり会えたらうれしいです。

英語の俳句を作ってみました。

Pink and red and white

Different colors, different smells

And all wonderful

Snow is still falling

Sakura blossoms coming

At Tanzan jinja

ピンク、赤、白

色ごとに香りが異なり

そしてみな、見事

まだ雪が降っているのに

談山神社に桜の花

*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。
英語版は中央公民館にあります。

五條文化博物館

平成十八年度春季特別展

学校

いま・むかし

6月4日(日)まで開催中

特別展記念講演会

日時 5月14日(日)午後2時~4時

場所 市立五條文化博物館1階研修室

定員 50人(事前に申し込んでください)

テーマ 「寺子屋と近代教育

—近世民衆の手習いと往来物—

講師 梅村佳代先生

(奈良教育大学教授=教育史)

参加費 入館料で参加できます

むかし懐かしい謄写版(がり版)印刷体験

日時 期間中の毎週日曜日・祝日午後3時から

申込・問合せ先 市立五條文化博物館 ☎24-2011